

## 50. 日本機械学会出版物の変遷

2006 年度から出版事業部会は、出版センターと名称を変え、「日本機械学会出版センター事業推進計画」を立案。出版を通じた学会の「社会貢献」「会員サービス」「利益増大」を活動目標とした。

2012 年度の出版センターでは、出版センターのミッションについて以下のように定義した。

- ・本会が有する知的財産の有形化による下記事項への貢献
  - +機械工学および関連産業の発展
  - +機械系学生の教育，機械技術者の育成
  - +機械および機械技術に関する啓蒙
  - +会員サービス向上による会員増強
- ・財務基盤強化への貢献

最近 10 年の出版センターの取組み（報告事項）を以下に記す。

[2007 年度]

機械工学便覧 α 編，β 編の全分冊が揃ったことで，セット販売の一括予約を行った。出版センター内に①便覧・テキストシリーズWG，②新規機械学会シリーズWG，③新規委託出版WGの3つのWGを設置し，事業推進計画を議論した。

[2008 年度]

機械工学便覧 γ 編分冊が揃ったことで，セット販売の一括予約を行った。  
出版分科会設置後から長期間経過後も出版がされない対策として，運営内規の見直しを行い設置期間を設定した。今後も出版が見込めない長期間出版が滞っていた分科会を解散した。

[2009 年度]

出版センター内に設置されていた3つのWGの機能を見直し，WG 1 を「将来出版構想検討WG」，WG 2 を「出版事業推進WG」と再編成して議論した。  
財政状改善のために在庫整理を行い，過剰在庫の処分を行った。

[2010 年度]

在庫費用削減のため，特に増刷の際に小ロット印刷に重点を置き，在庫の削減を図った。

[2011 年度]

新刊発行点数を増やして売上規模を大きくしていくため，多様なジャンルでの出版企画を増やすべく部門・専門会議・推進会議へアンケート調査を行った。

[2012 年度]

機械工学便覧は機械学会の英知を集約した重要かつ有用なコンテンツであるが，売り上げが低迷している。この状況の改善策として，機械工学便覧の低価格化による購買層の拡大が必要であることを確認した。そのために，出版センターとしては新たなコストをかけず，現在のコンテンツをそのまま利用できる DVD 化によって，収益改善を目指すこととした。

新刊作成時の販売価格について，適正化を図った。

[2013 年度]

機械工学便覧 DVD 版は，2014 年 3 月の発行を決定した。著作権譲渡および転載許諾については，電子メール，往復ハガキ，書面にて依頼し，執筆者が故人の場合には相続人等にも依頼した。著作権譲渡につ

## 50. 日本機械学会出版物の変遷

いて学会誌 11 月号にて告知を行った。

[2014 年度]

新刊を発行して売上を維持していくため、部門・専門会議・推進会議へアンケート調査を再度実施した。その回答を元に多様な形態での新規出版の可能性を検討した。

[2015 年度]

以下の直営出版企画を承認し、「1 D C A E シリーズ出版分科会」を設置した。

「設計のための 1DCAE 概念と実現技術」

以下の委託出版について承認した。

「BOILING: RESEARCH AND ADVANCES」Elsevier 社

[2016 年度]

2016 年 3 月から書籍販売 HP をリニューアルした。スマートフォンからもアクセス可能とした。また、書籍の購入代金の支払い方法として、新たにクレジットカード払い・コンビニ払いでの対応を可能にした。HP リニューアルに伴い、これまで複数あった書籍保管倉庫を一元化し、利便性を高めた。

以下の 4 件の直営出版企画を承認し、分科会を設置した。

「鉄道車両のダイナミクスとモデリング（仮題）」

「技術資料 管路・ダクトの流体抵抗 DVD-ROM 版」

「生体機械工学(改編)（仮題）」

「流体計測法 改訂版」

新刊発行や新しい発行形態（電子出版など）について検討をした。

### 直営出版物（新刊）

発行年度	書籍名
2007	機械工学便覧 β 1 「設計工学」 機械工学便覧 α 6 「計算力学」 機械工学便覧 γ 2 「流体機械」 JSME テキストシリーズ「材料力学」 機械工学便覧合本「α 基礎編」 創立 110 周年「機械工学 最近 10 年のあゆみ」 JSME テキストシリーズ「機構学」 発電用火力設備規格 火力設備配管減肉管理技術規格（2007 年版） 発電用原子力設備規格 維持規格（2007 年追補版） 発電用原子力設備規格 溶接規格（2007 年版）通常版 発電用原子力設備規格 溶接規格（2007 年版）携帯版 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第 1 編軽水炉規格（2007 年追補版） 機械工学便覧 β 5 「計測工学」 JSME テキストシリーズ「機械材料学」 使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格（2007 年版）
2008	JSME テキストシリーズ「演習 伝熱工学」 機械工学便覧 γ 1 0 「環境システム」

## 50. 日本機械学会出版物の変遷

	<p>機械工学便覧合本「βデザイン編」</p> <p>機械工学便覧γ9「医療・福祉・バイオ機器」</p> <p>機械工学便覧γ7「メカトロニクス・ロボティクス」</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格（2008年版）</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格（2008年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 材料規格（2008年版）</p> <p>発電用火力設備規格 その1（2008年版）</p> <p>発電用火力設備規格 その2（2008年版）</p> <p>核融合設備規格 超伝導マグネット構造規格（2008年版）</p> <p>材料力学ハンドブック&lt;応用編&gt;</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第1編軽水炉規格（2007年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第1編軽水炉規格（2008年版）</p>
2009	<p>伝熱工学資料 改訂第5版</p> <p>発電用火力設備規格 火力設備配管減肉管理技術規格（2009年版）</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第II編高速炉規格（2009年版）</p> <p>計算力学ハンドブックIII</p> <p>発電用火力設備規格 基本規定（2008年版）</p> <p>日本機械学会基準 S015 フレッキング疲労試験方法 改訂版</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格（2009年追補版）通常版</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格（2009年追補版）携帯版</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第1編軽水炉規格（2009年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 環境疲労評価手法規格（2009年版）</p>
2010	<p>日本機械学会基準 S013 磨耗の標準試験方法（改訂版）</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格（2009年追補版）</p> <p>核融合設備規格 超伝導マグネット構造規格 英訳合本版（2008年版）</p> <p>再処理設備規格 設計規格（2010年版）</p> <p>JSME テキストシリーズ「演習 材料力学」</p> <p>新・機械技術史</p>
2011	<p>先端事例から学ぶ機械工学</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格（2010年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格（2010年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格（2010年追補版）第I編軽水炉規格</p> <p>発電用原子力設備規格 コンクリート製原子炉格納容器規格（2011年版）</p> <p>ロボティクス</p> <p>発電用原子力設備規格 材料規格（2011年版）</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格（2011年追補版）</p> <p>機械実用便覧 改訂第7版</p>
2012	<p>発電用原子力設備規格 溶接規格（2011年追補版）</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格（2011年追補版）第I編軽水炉規格</p>

## 50. 日本機械学会出版物の変遷

	<p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2011年追補版)第Ⅱ編高速炉規格</p> <p>JSME テキストシリーズ「演習 流体力学」</p> <p>JSME テキストシリーズ「機械工学総論」</p> <p>JSME テキストシリーズ「演習 熱力学」</p> <p>JSME テキストシリーズ「演習 振動学」</p> <p>発電用火力設備規格 基本規定(2012年版)</p> <p>発電用火力設備規格 詳細規定(2012年版) &lt;材料, ボイラ, 圧力容器, 配管&gt;</p> <p>発電用火力設備規格 詳細規定(2012年版) &lt;非破壊検査, 溶接施工法, 溶接技量&gt;</p> <p>再処理設備規格 設計規格(2012年版)</p> <p>再処理設備規格 溶接規格(2012年版)</p> <p>再処理設備規格 維持規格(2012年版)</p> <p>先端事例から学ぶ機械工学(増訂版)</p>
2013	<p>JSME テキストシリーズ「機械工学のための数学」</p> <p>東日本大震災合同調査報告 機械編</p> <p>JSME テキストシリーズ「機械工学のための力学」</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2013年追補)Ⅱ編高速炉規格</p> <p>核融合設備規格 超伝導マグネット構造規格(2013年版)</p>
2014	<p>機械工学便覧 DVD-ROM 版</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格(2013年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 外部事象シビアアクシデント対策</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格(2013年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 材料規格(2013年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 設計建設規格(2013年追補)第Ⅰ編</p> <p>発電用原子力設備規格 シビアアクシデント BWR 鋼製格納容器編</p> <p>JSME テキストシリーズ「加工学Ⅱ-塑性加工」</p> <p>発電用設備規格 発電用設備規格関連の材料事象に関する解説</p> <p>JSME テキストシリーズ「演習 機械工学のための数学」</p>
2015	<p>JSME テキストシリーズ「演習 機械工学のための力学」</p> <p>発電用原子力設備規格 維持規格(2014年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第Ⅱ編(2014年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 材料規格(2014年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格 第Ⅰ編(2014年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 溶接規格(2014年追補)</p> <p>発電用原子力設備規格 コンクリート製原子炉格納容器規格(2014年版)</p> <p>発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン&lt;PWR プレストレストコンクリート製格納容器編&gt;</p> <p>発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン&lt;PWR 鋼製格納容器編&gt;</p>
2016	<p>発電用原子力設備規格 設計・建設規格(2015年追補) &lt;第Ⅱ編 高速炉規格&gt;</p>

## 50. 日本機械学会出版物の変遷

発電用原子力設備規格 維持規格 (2015年追補) 発電用火力設備規格 詳細規定 (2015年追補) <材料・ボイラ・圧力容器・配管> 発電用火力設備規格 詳細規定 (2015年追補) <非破壊検査・溶接施工法・溶接技量> 発電用火力設備規格 基本規定 (2015年追補) 発電用原子力設備規格 材料規格 (2015年追補) 発電用原子力設備規格 溶接規格 (2015年追補) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (2015年追補) <第I編軽水炉規格>
--

### 委託出版物 (新刊)

発行年	書籍名	出版社
2007	機械工学最前線 1 運動と振動の制御の最前線 機械工学最前線 2 CFD最前線 コンピュータダイナミクスシリーズ2 「非線形系のダイナミクスー 非線形現象の解析入門ー」 コンピュータダイナミクスシリーズ4 「マルチボディダイナミクス (2)ー数値解析と実際ー」	共立出版 " コロナ社 "
2008	事例に学ぶ流体関連振動 第2版 感覚・感情とロボットー人と機械のインタラクションへ挑戦ー 機械工学最前線 3 マイクロバブル最前線	技報堂出版 工業調査会 共立出版
2009	機械工学最前線 4 非破壊検査工学最前線 続・科学英語の書き方とプレゼンテーション	共立出版 コロナ社
2010	フルードインフォマティクス「流体力学」と「情報科学」の融合 機械工学最前線 5 安全工学最前線	技報堂出版 共立出版
2011	機械工学最前線 6 流体工学最前線	共立出版
2012	機械工学最前線 7 バイオメカニクス最前線	共立出版
2013	なし	
2014	知って納得! 機械のひみつ 法工学入門	朝倉書店 丸善出版
2015	なし	
2016	なし	